

令和5年8月定例記者会見要旨

開催日時 令和5年8月21日（月）午前10時30分 302会議室

（総務部長）皆さんこんにちは。ただいまより8月の定例記者会見を開会いたします。

（市長）こんにちは。いつもありがとうございます。本当に今年の夏は大変暑い日が続いておりますが、市政の取材等ご協力ありがとうございます。台風の接近で大変ぎりぎりまで難しい判断であった第75回諏訪湖祭湖上花火大会を無事に開催することができ、本当にありがたいと思っております。8月もこれから議会開会等ございますが、前期の最終月である9月の日程が出てまいりましたので、これからご説明を申し上げます。引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

9月9日、10日に「2023諏訪市長杯霧ヶ峰ドッグスポーツフェスティバル」が霧ヶ峰で開催されます。主催は霧ヶ峰ドッグ倶楽部ですが、昨年から犬の競技大会として注目を集めております。愛犬家の交流及び訓練犬の成果発表の場で、犬の訓練競技会になります。課目は服従・選別・足跡追求とし、それぞれの課目を訓練している訓練士及びアマチュアとその愛犬たちが参加するコンペティションです。上位10頭までを表彰対象とし、優勝犬には優勝旗、2位と3位にはカップが授与されます。

9月9日午前9時から「第23回諏訪市農業祭・第19回JA信州諏訪農業祭」を諏訪湖イベントひろばに屋外テントを用意して開催いたします。テーマは「地産地消ともにかそう諏訪の農産物」です。実行委員会が過日開催され、詳細の打ち合わせが済んでおります。9時から開会式で、太鼓演奏や演歌体操、アルパカふれあい体験、農機具展示会などが予定されております。以前に行われた子供たち対象のアンパンマンショーなどは今回行いませんが、今までなかったアルパカふれあい体験コーナーやワクワク！親子工作ひろばなど工夫を凝らしております。好評の地元農産物大特価の販売もあります。新型コロナウイルスにより3年間開催がなく、4年ぶりとなります。ぜひ皆様にもお知らせいただき、多くの方にご参集いただきたいと思います。

同じく9日から24日まで「諏訪湖まちじゅう芸術祭2023」が開催されます。主催は実行委員会、諏訪湖アートリング協議会となりますが、参加施設が諏訪湖周の15施設です。諏訪市では、諏訪市博物館、諏訪市美術館、諏訪高島城、3施設が参加協力をいたします。アートリング協議会は2011年に発足し、諏訪市、岡谷市、下諏訪町の湖周にある文化施設が連携し、幅広いジャンルの芸術や文化を、諏訪湖を中心にひとくくりとして体験していただいたり地域における芸術文化環境の充実や皆様に愛される地域を目指して協同活動に取り組んでおりますが、今年まちじゅう芸術祭ということでスタンプラリーや特典もついておりますので、ぜひ皆様に湖周を回っていただきたいと思います。

9月13日の午前中に敬老祝賀訪問を行います。令和5年度敬老祝金・祝品の配布対象者の中で、最高齢者は男性102歳、女性107歳のお二方です。対象者に理事者が訪問して、お祝いを申し上げます。100歳の方（大正12年4月1日～大正13年3月31日生まれ）が現在32名おられます。100歳の記念品と祝い状、賞状等をお持ちし、国からの祝状を伝達してまいります。99歳の方は現在30名おられますので、お祝いの記念品をお持ちいたします。88歳は米寿のお祝いとなりますが、諏訪市には338名おられます。民生委員の皆様にご協力をいただき、お祝いを申し上げたいと思います。健康長寿を目指す諏訪市にとって敬老のお祝いをメッセージとして発信できる良い機会だと思いますので、よろしく願いいたします。

9月30日に「上諏訪街道まちあるき呑みあるき」が開催されます。かつて呑みあるきというイベントがありましたが、国道の細い歩道に3,000人～5,000人の皆さんがお酒を飲みながら歩くことに対する心配を解消するため、国道を通行止めにするに向けて取り組みがなされました。まちあるき呑みあるき実行委員会は私が会長、商工会議所の会頭が実行委員長で、新たな構成として申請しておりました。長野国道事務所から許可をいただいていたところ、新型コロナウイルスの蔓延によりなかなか実行できなかった経過がございます。ここでコロナも5月より5類になったということで、初めてここで上諏訪街道まちあるき呑みあるきが開催をされることになりました。7月26日からチケット販売が始まっておりますが、現在1日10枚程度のペースで購入されており、すでに1,600枚は販売済みになっております。購入者の居住地は、販売サ

イトイープラスの資料によりますと、県内が49%、関東圏域が33%となっており、以前と比べて県外者の割合が少ない状況のようです。これから皆様にもお知らせをしていただきながらしっかりと宣伝をして、多くの皆様にお集まりいただきたいと思っております。地元の食文化の発信を兼ねて、飲食店等が出店するつまみ屋台がございます。出店状況は、川魚、ところてん、諏訪味噌等様々ありますが、会場の都合により出店コマ数は16店舗分を計画しており、以前と比べて7店舗ほど少なくなっております。地元地区からも来場者をもてなす催し物の開催を検討していることでもありますので、どうぞ皆様からもお知らせをお願いしたいと思っております。初めて国道を止めての企画でございますので、しっかりと国道事務所や県警等と連絡をとりながら対応してまいりたいと思っております。

開館25周年を迎えた原田泰治美術館の企画展「原田泰治 一本の道 ふるさとから世界へ」、「第3回高橋まゆみ人形展」が8月31日から開催されます。その他教育委員会関係の9月の行事予定も配布いたしました。

(9月の日程説明等)

- 令和5年度伊東市文化協会との姉妹市交歓学習会
9月12日(火) 午後7時00分 RAKO華乃井ホテル
- 諏訪湖・河川浮遊ごみ除去作業
9月16日(土) 午前7時30分 諏訪湖ヨットハーバー
- 諏訪市消防団 総合訓練・機関講習
9月17日(日) 午前9時00分 諏訪湖イベントひろば
- 霧ヶ峰高原草原再生作業
9月23日(土) 午前9時00分 霧ヶ峰
- 第76回秦野たばこ祭
9月24日(日) 午後 秦野市
- 諏訪湖DEウォーク(諏訪湖の日PRイベント)
9月29日(金) 午前7時00分 湖畔公園
- 第75回諏訪湖祭湖上花火大会表彰式
9月29日(金) 午後5時30分 ホテル鷺乃湯

記者との質疑応答

○諏訪湖祭湖上花火大会について

(記者) 花火大会を振り返った総括は。

(市長) 4年ぶりに開催されたフル規格の花火大会でありました。コロナ禍の時間は、この大会を様々な観点で見直す良い機会ともなっていたと思います。柳並線が開通してから初めての開催であり、交通関係についても、人の流れや救急車両が滞ってしまう課題等を考えながらフードコートを実行してみました。そのことにより湖周の会場周辺の流れはスムーズになったと思います。花火については、競技花火は残しましたが、その中身は変革もありました。設備等の事情についても、4年間の間に施設が老朽化したことでのリフォームなどいろいろな側面で改革改善に取り組み、新たな試みをいたしました。そして、直前まで台風7号の進路について、開催するのかわりと悩むところがありました。実行委員会としては、基本的に雨天決行の大会であります。災害になってはいけないこととの狭間で判断を見極めておりましたが、何とか無事に予定通り開催できたことは大変幸運であったと思っております。一方で、ご承知のように全国各地で被災された皆さんがおられますので、開催するにあたってそうした地域の皆さんにしっかりと心を寄せ、思いを致すことを気に留めながら開催させていただいたところでもあります。様々なご意見をいただいておりますが、多くの皆さんに開催を喜んでいただき大変好評であったことは大変嬉しいニュースでありました。一方で、公共交通機関が止まったり、いろいろな事情でお越しになれなかった方々の残念な思いも汲み取るべきだと思っております。フードコートや交通の関係の見直しについていろいろなご意見をいただいておりますが、初めての試みでありましたので、今回のご意見をしっかりと受け止めて、より良いものにするために参考にさせていただきたいと思っております。実

行委員会としては、事故なく素晴らしい花火が湖上に復活したことについて、ご協力とご苦勞いただいた皆さんに心から感謝を申し上げたいと思います。

(記者) 新作花火大会は来年度以降復活する可能性があるか。

(市長) 新作花火大会については実行委員会の中で検討中であり、結果についてはまだ様子が見えておりませんので、しかるべき段階を踏んで皆様に発表できるようにしたいと思います。

(記者) 今回の開催にあたって得た教訓は。

(市長) 75回の歴史を積み上げてきた伝統ある大会であります。昨今は気候の変動が大会に影響を及ぼす可能性が高まっていると感じます。前回の第71回大会の時も台風の影響により直前まで風速9.9メートルの風が吹いておりました。近隣の富士見町などは豪雨であった状況の中で厳しい判断を求められた経験もございます。それより前には、諏訪湖に雷を伴う集中豪雨となった経験をしております。実行委員会としては、雨天決行の伝統がある中で危険は回避すべき、災害への対応はしっかりと準備すべきということを市長就任以来ずっと心に留めて準備してまいりましたので、今回も万が一の場合には避難所対応もスタンバイする心構えでございました。今までの積み重ねの中で心構えとして持ってきたことも、当日までその緊張感を持って対応したことでもありますので、この後集まってくるいろいろな情報を含めてしっかり反省材料を整えたいと思っています。

○臨時駐車場、フードコートについて

(記者) 変更点の効果は。

(市長) 駐車場の事前予約制につきましては、過去の大会は、早朝あるいは前日の夜中から公共施設の駐車場に順番待ちする車列が大変長くありました。そして入口に配置する職員の数、料金精算しなければならないために銀行スタッフの協力を仰ぐ等必要でしたが、今回は当日の夕方まで車列がなく、夕方4時から6時くらいの間に駐車場がほぼ埋まるようにスムーズに車が入りました。駐車場を探して回る車が減ることにより、市内の交通渋滞が随分緩和され、効果があったのではないかと思います。フードコートにつきましては、当日の午前中はまだ強風が吹いていたため、準備作業が少し遅れたことがございました。午前中は人が集まるだろうかと心配されましたが、午後になって相当な方が集まってくださいました。フードコート内が思った以上に混雑し、目的のところに到達できなかつたり、選んだ列と違うところだつたり、台風の影響で開催するかわからなかつたために仕入れを控えた結果早く売り切れてしまったなど様々な情報が届いております。間欠泉センター辺りの栈敷をご予約されていた方々からすると、子供たちやお年寄りが屋台の雰囲気を楽しむには距離があり過ぎたのではないかというご意見もいただいております。いろいろなご意見を聞きながら、来年以降どこにしていくなか参考材料にしたいと思っています。

○文化センターの改修について

(記者) 当初のスケジュール通りに進みそうか。

(市長) 文化センターにつきましては、通常の年であれば当初予算に盛るべき話でしたが、改選期であったため、政策的な判断を伴う案件として6月補正で上程させていただきました。6月議会で予算の削除がありましたので、予定よりかなり遅れたスタートであります。しかし、文化センターの改修についてご承認をいただきましたので、補助金や今後の事業遂行について教育委員会とすれば全力を挙げて間に合うように取り組んでいる最中であり、年度内に基本設計が見えてくるように取り組んでいるところであります。

(記者) 改修への市長の思いは。

(市長) 市民に対してしっかり浸透していなかったという議会のご指摘についてはしっかり受け止めてまいりたいと思っています。そのために、8月2日の臨時議会では市民に理解をいただくための企画予算を追加させていただきましたが、それだけということではなく、また諏訪湖記者クラブの皆さんのお力もいただきながら、文化センターの保存活用に向かって市民の理解を深め

ながら進めていきたいと思えます。あのよう芸術性の高い施設を新たに作るとなると相当の資金と努力が必要です。60年前この地域にあった力強い産業によって収益をいただいた企業の遺産としてここに残されているものが朽ちていくのを、そのままにするのではなく、改修しながら使うことによって文化財的価値はさらに高まり、それを利活用できることで市民の文化・芸術に対するシビックプライドの醸成に対しても価値があるものであるということ共有しながら事業を進めていきたいと思っているところであります。

(総務部長) 以上をもちまして定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。